

令和6年度 長野市立長野中学校の適性検査問題の作成方針

1 出題の基本方針

- (1) 小学校学習指導要領を基に、思考力や判断力、表現力等、小学校の学習で身に付けた総合的な力をみるとともに、広い視野や自分の考え方をもって学習することへの適性をみる。
- (2) 社会や身近な地域、生活の中にある事象や課題について、自分の経験や知識で分析し、身の回りの環境や社会に対して積極的に働きかけていくことへの適性をみる。
- (3) 身近な事象について視点を定めて考察し、考えたことや自分の意見を、筋道を立ててわかりやすく説明する力をみる。
- (4) 与えられた文章や資料から、課題となる条件を読み取り、自分の考えや感じたことを表現する力をみる。

2 問題の構成及び主なねらい

【適性検査】(50分)

- 【問1】 電池の数や回路を変えて、電磁石の力の変化を調べた実験の結果から、電磁石の性質について考察したり、回路の性質について推論したりする。また、実験結果を振り返り、実験結果がばらついた原因を考えて表現する。
- 【問2】 2つの数について一方が他方の何倍になるか求めたり、計算の答えから式を作っている数を求めたりする。また、グラフを利用して1か月の電気料金を予測したり、与えられた電気料金プランを読み取ったりして、電気使用料金の求め方を説明する。
- 【問3】 長野市の公共交通に関する資料を正しく読み取る。また、少子化によって全国的に公共交通のあり方が見直されているなか、長野市における公共交通にかかわる諸資料を読み取り、存続、廃止のそれぞれの立場からその理由を考え説明したり、持続可能な社会に向けて、自分なりのアイデアを考え説明したりする。

【作文】(50分)

- 【問1】 会話文にある漢字を正しく書く。インタビュー内容から要点をつかみ、簡潔にまとめる。文脈を捉え、場面に適した言葉づかいで、インタビュー中の質問を考える。
- 【問2】 自分が住む地域のよさと課題を簡潔に書くとともに、その詳しい内容と理由について、自分の体験を基にして説明する。自分が住む地域をどのような地域にしていきたいかと、そのために総合的な学習の時間においてどのような活動をしていきたいかを文章で表現する。